

SD

No.35

2026・春
専門校だより

岡山県立北部高等技術専門校

Senmonkou Dayori No.35 Spring 2026



INDEX

訓練生からのメッセージ	1～2
校長のひとりごと	3
トピックス	3



専門校
ホームページ

訓練生からのメッセージ

～訓練を振り返って～

野々上 詞保さん

電気設備科

入校のきっかけは、前職で制御ボックスの作成や配線作業をしていたことです。その際、「手先が器用で、電気の仕事に向いている」と言われたことがきっかけで、この道に進みました。

入校前は少し不安もありました。特に金属管を曲げる作業では、周りの人が軽々とこなす中、自分は力の差を感じて悔しい思いをしたこともありました。しかし今では、みんなと仲良く過ごし、もし可能ならもう一年続けたいと思うほど、日々が楽しく充実しています。第一種電気工事士試験にも合格でき、学んだことがすべて自分にとってプラスになっていると感じています。

修了後は設備保全の仕事をする予定です。今後は、与えられた仕事を確実にこなせるように成長していきたいと思っています。



里内 晴陽さん

木造建築・再生科

「大工になりたい」「大工の世界に入るため、その第一歩を学びたい」という思いから、入校しました。

建築現場での経験が豊富な先生方から、道具の手入れ方法や継手・仕口といった基礎はもちろん、教科書には載っていない豆知識まで、現場目線で丁寧に教えてもらえます。

僕は失敗も多く、特に道具の扱いには難しさを感じています。鋸(のこ)の使い方一つでも、目線や立ち位置を意識せずに切ると切り口が乱れてしまいます。同じ道具を使っているのに、先生が作業するときれいに仕上がるため、経験の差を強く実感しています。それでも「できない」で終わらせるのではなく、「できないからこそ頑張ろう」と前向きに考え、日々努力を重ねています。

また、年代の異なる離転職の方々と出会い、趣味の魚釣りの話や人生経験を聞くことで、多くのことを教わっ



ています。こうした出会いがあったからこそ、今の自分があるのだと感じています。

修了後は、宮大工を目指してさらに技術を磨いていきたいです。

長森 久典さん

建物設備サービス科

建物管理や空き家に関するニュースを聞く中で、電気や給排水といったインフラの整備・維持は、社会にとって必要不可欠であり、今後も求められ続ける仕事だと感じるようになりました。そこから設備管理の仕事に興味を持つようになりました。

独学で第二種電気工事士の免状を取得しましたが、訓練で実技試験の課題に取り組む中で、試験には合格できても、実際の現場で求められるレベルにはまだ達していないことに気づきました。給排水設備についても、排水管の接続では水平器を使って角度を確認しながら作業しますが、わずかなズレでも不具合につながります。テキストを読んで理解したつもりでも、実際にやってみなければ分からないことが多く、失敗を通して初めて気づく点もあり日々学び続けることの大切さを実感しています。また、仲間と切磋琢磨しながら取り組むことでモチベーションも高まり、前向きに頑張れます。

この訓練を通して、業界の仕事内容の輪郭が見え、ようやくスタートラインに立てたと感じています。この経験を活かし、就職後も学び続けながら、現場で役立つよう努力していきたいです。



長船 友紀さん

ケアサービス科

「楽しい!」「学ぶことは大変」「でも楽しい!」これが今の私です。私は、病気治療を機に転職を考えていました。食材を宅配する今までの業務の中で高齢者との関りが増えていたので、その経験を活かせる「介護」の仕事に繋がる職業訓練を受けることにしました。壁にぶち当たることもあります。訓練が進むにつれ同期の訓練生同士の仲間意識が出てきて、お互いを尊重して刺激し合ったり慰め合ったりして、ワイワイガヤガヤと学生気分も出てきて充実した訓練生生活を送っています。

何か一生懸命取り組むこと、頑張ることを覚えた気がします。新しい分野の仕事に就く前に基礎から学んで少しでも不安をなくせたら良いなと思っています。



訓練を受けて、【自分の世界を広げる良いチャンス】【頑張る自分に出会える】【迷っているなら見学を!】と皆に伝えていきたいです。

藤原 大笑さん

小さい頃からものづくりが好きで、大学ではデザイン系の学科を専攻しました。ものづくりには金属やプラスチックなどさまざまな素材がありますが、木材には特有の魅力があります。木肌の感触や手触り、香りはもちろん、磨くと自然に手に馴染んでいく感じが何とも言えない良さです。そんな素材の持ち味を生かす作り手になりたいと思い、入校を決めました。

最初は、手加工だけで一つひとつ家具を作るのだと思っていました。訓練が進む中で機械加工にも取り組むことになり、当初の想像との違いに驚きました。そして実際に取り組んでみると、手加工以上の技術が必要で、材質に合わせて加工を調整する楽しさを感じるようになりました。作業に集中していると、時間があっという間に過ぎていき、充実感ややりがいを感じています。

また、受講を通じて、さまざまな年代のクラスメイトと過ごしながら、コミュニケーションスキルが向上したことも良かった点です。自分がやりたいことを楽しみながら取り組んでいると、周囲から「明るくなったね!」や「いい顔してるね!」と言われるようになりました。

修了後は、これまで学んだ技術を活かし、木を使ったものづくりの道に進んでいきたいと考えています。



あなたの希望する就職を強力に後押しします!

～北部高等技術専門校の就職支援サポート～

北部高等技術専門校では、専門技術の習得だけでなく、あなたが望む職種に就き、自信を持って社会で活躍できるよう、一人ひとりに寄り添った就職支援プログラムを提供しています。

○個別相談・指導

キャリアコンサルティング資格を持つ就職支援員が常駐。履歴書や職務経歴書の添削から模擬面接まで、きめ細かな指導で内定獲得をサポートします。

○地元企業との連携による求人情報の提供

地元企業を中心に、多様な求人情報を積極的に収集。一般には公開されない優良求人も多数扱っています。また、職場見学や校内企業説明会など、職場の雰囲気や業務内容を直接体験でき、企業とのマッチングを深める機会を提供します。

○「就職スキルアップ講座」で実践力を磨く

キャリア支援のプロフェッショナルである外部講師をお招きし、就職活動の心構えから、履歴書・職務経歴書の作成、面接での自己アピールまで、選考突破に役立つ具体的なノウハウを学べます。

○修了後も安心のキャリアサポート

職業訓練修了後も就職相談やキャリアアップ、再就職のアドバイスを継続して行います。



校長の ひとりごと

本校に赴任して改めて「ものづくり」の魅力を実感しました。子どもの頃に工作やプラモデル作りで形にする喜びを味わった経験があり、この喜びこそ「ものづくり」の原点であり、最大の魅力だと考えています。

家の新築や家具、電気設備の工事などで職人の確かな技術に感動されたことはありませんか。その感動を今度は皆さんが作り出す側となり、仕事や生涯の生きがいとして形にしてみませんか。

本校は、初心者も基礎から学べる環境を整え、ものづくり分野だけでなく、介護職員の養成やパソコン・簿記などの総務・経理分野の実践的訓練も民間教育機関と連携して提供しています。

早期就職やキャリアアップを目指す方を全力で応援します。興味を持たれた方はぜひ本校のウェブサイトをご覧ください。お電話でお問い合わせください。オープンスクールや見学会も随時開催しています。

◆公共職業訓練を受ける主なメリット◆

- ・受講料が低額または無料で経済的負担が少ない！
- ・企業が求める実践的なスキルを体系的に習得可能！
- ・専門資格を持つ講師陣から直接指導が受けられる！
- ・履歴書作成や面接対策などきめ細かな就職支援がある！
- ・条件を満たせば訓練期間中の給付金制度も活用できる！

さあ、あなたの新しい挑戦を職員一同、心からお待ちしています！

校長 岡田 雅之

専門校トピックス

訓練生作品展示販売会

技能フェアを開催しました

2月19日に技能フェアを開催し、木造建築・再生科と木工・デザイン科の訓練生が心を込めて制作した作品、計100点を展示・販売しました。

木のぬくもりが感じられる一つひとつの作品には、訓練生のものづくりへの熱い思いが込められており、来場された皆様には、抽選でお気に入りの作品をご購入いただきました。

また、訓練紹介コーナーでは、パネル展示を通して各科の訓練内容について紹介し、ものづくりの魅力をより身近に感じ、来場者の皆様に理解を深めていただく良い機会となりました。

多くの方々にご来場いただき、作品を笑顔でご覧いただけたことは、訓練生にとって今後の大きな励みとなりました。

